

## 令和元年度滋賀県・長浜市原子力防災訓練 評価者による評価内容

## 1 一時集合場所【余呉小中学校】

(1) 市は受付を行い、避難者の把握を行っていたか。

概ね到達 (4 人) 課題がある (2 人) 確認できず (2 人)

## 【概ね到達】

- ・名前を書かずに入ろうとした住民を呼び止め、対応しており、全体を観察できていると感じた。
- ・出入口を2つにして、動線を絞り、効果的に行っていた。
- ・受付が終わった人にお茶を渡すのはよい工夫と思う。

## 【課題がある】

- ・自治会のチェックシートは家に残っている人も把握できるよう、全数あらかじめ書いておいた方がよいのではないか。
- ・スクリーニングシート配布時に、市がシートに基づき自治会毎シートに記入してはどうか。

(2) 市は、あらかじめ避難対象者リストを作成し、一時集合場所から移動する前に参集チェックしていたか。

概ね到達 (1 人) 課題がある (3 人)

## 【概ね到達】

- ・あらかじめ作成された名簿がなかったが、あらかじめ作成した人数の表があり、それで確認していた。

## 【課題がある】

- ・避難者リストがなく、避難できなかった人の把握はどういう方法とするのか。スタッフ側に必要性の理解がなかったのではないか。(マニュアルはどのようなになっているのか)
- ・現場には、スクリーニング個票に基づく記載票しかなく、リストは見当たらなかった。

(3) スタッフの服装は適切だったか。

概ね到達 (8 人)

## 【概ね到達】

- ・防護服の着用は完璧だった。
- ・タイベックを着ているスタッフのうち数名、マスクをしていなかった。
- ・ビニールのレインコートを着るなど住民の服装は適切であった。

(4) 安定ヨウ素剤について、十分な説明がなされていたか。

概ね到達 (6人) 課題がある (2人)

【概ね到達】

- ・説明は丁寧でわかりやすかった。
- ・年齢が「40歳を超えていると効果がない」ことが強調されすぎており、必要性が薄れた印象がある。
- ・プリントしたものを配布して説明した方がわかりやすい。
- ・「約40%が母乳に移行する」との説明であったが、「安定ヨウ素剤の配布・服用に当たって」では、「最大1/4が母乳に移行」と記述されている。
- ・以下の説明がなされていれば、より正しく住民に理解されたのではないかと思う。
  - ① ヨウ素やカリウムは日常的に摂取していることを具体例に上げて説明
  - ② 安定ヨウ素剤を複数回服用する場合には、24時間空ける必要がある。妊婦・新生児・授産婦の躊躇せずに服用することが重要。
  - ③ 安定ヨウ素剤は、万能薬でないことを、具体例を持って説明

【課題がある】

- ・説明では、国からの指示と言っていたが、実際にどう伝わるのか知らせた方がよいのではないか。
- ・服用を優先すべき対象者が説明で言われていたが、実施に誰に配布するのかははっきりする必要がある。
- ・現場の人に聞くようにとの説明であったが、現場の人が適切に対応できるよう準備が必要。

(5) 市は、住民を適切に誘導していたか。

概ね到達 (6人) 課題がある (0人) 確認できず (2人)

【概ね到達】

- ・何のために移動するのか説明が必要ではないか。(講習会で説明があった。)
- ・職員の動きがテキパキしており、声もしっかり出ていた。

(6) その他一時集合場所全体での気づき事項

- ・住民も簡易防護服を着用しており、感心した。
- ・パトカー内部の養生をしていたのは、訓練として好ましい。
- ・なぜマスク、雨合羽を着用する必要があるのか説明がほしかった。
- ・住民の方々も合羽を着用してきており、他県ではそのような例はみられなかったもので、よいと思う。
- ・少人数ではあるが、若いお父さんや小さい息子さんの参加が見られ良いと思う。

## 2 避難中継所【湖北体育館】

(1) 交通誘導班は、車両を適切な場所へ誘導していたか。

概ね到達 (7人) 課題がある (1人)

### 【概ね到達】

- ・大きな身振りで誘導を行っており良好。

### 【課題がある】

- ・バスはUPZ内専用であり、スタッフが手順を十分に理解しているのか疑問。

(2) 住民誘導班は、住民が速やかにスクリーニングを受けられるよう、適切に誘導していたか。

概ね到達 (7人) 課題がある (0人) 確認できず (1人)

### 【概ね到達】

- ・誘導員の説明の声が大きく、聞き取りやすかった。

(3) スクリーニング会場は、人の動きを考慮した動線となっていたか。

概ね到達 (6人) 課題がある (2人)

### 【課題がある】

- ・白矢印と赤矢印の動線がクロスしてしまっているところがある。

(4) スクリーニング会場は、分かりやすい案内表示がされていたか。

概ね到達 (7人) 課題がある (0人) 確認できず (1人)

### 【概ね到達】

- ・「寒さ」対策として、ストーブも用意されていた (良い点)。

(5) スクリーニング会場は、汚染拡大を防止する措置 (養生、汚染区域との境界線を明確にする等) はされていたか。

概ね到達 (2人) 課題がある (6人)

### 【概ね到達】

- ・ゲートモニタ下のシートを取替えができるようにしてあった点が良好。

### 【課題がある】

- ・救護場所周辺の境界線が不明瞭だった。
- ・境界線の区分け (立入り制限) があいまい。

(6) スクリーニング会場のスタッフの服装は適切であったか。

概ね到達 (7人) 課題がある (0人) その他 (1人)

### 【概ね到達】

- ・服装は統一されており良好。

### 【その他】

- ・ひざをつかないようにする必要がある。

(7) スクリーニングを待つ間の配慮がなされていたか(椅子の準備、声かけ等)。  
概ね到達 (8人)

【概ね到達】

- ・椅子にビニールシートが掛けられており、汚染した場合に迅速に対応できるよう工夫がなされていた。
- ・2カ所でスクリーニングがあるとの説明がよかった。
- ・しっかりと住民への声かけをしていた。

(8) スクリーニングの測定時間のばらつきはなかったか。  
概ね到達 (7人) 課題がある (0人) 確認できず (1人)

【概ね到達】

- ・「ばらつき」がないよう誘導していた。
- ・1人概ね30秒であり、スムーズに行われていた。

(9) ゲートモニタを活用したスクリーニングは円滑に行われていたか。  
概ね到達 (7人) 課題がある (1人)

【概ね到達】

- ・1人概ね30秒であり、スムーズに行われていた。
- ・ゲートモニタのスクリーニングが安全サイドにスクリーニングできるのであれば、効率的であると感じた。
- ・ろ紙を交換するなど、汚染発見時に適切に対応していた。

【課題がある】

- ・車両前面の検査がなかった。

(10) 人と測定器との距離を適切にとって測定していたか。  
概ね到達 (7人) 課題がある (1人)

【概ね到達】

- ・人が立つところに印が付けてありわかりやすくしていた。
- ・靴の裏面まで丁寧に行っていた。

【課題がある】

- ・サーベイメータの動きがはやすぎる。

(11) 除染は適切に行われていたか。  
概ね到達 (4人) 課題がある (1人) 確認できず (2人)

【課題がある】

- ・除染スポットのしつらえがオープンすぎるのではないかな。

(12) 患者の搬送は適切に行われていたか。

概ね到達 (7人) 課題がある (0人) その他 (1人)

【概ね到達】

- ・職員の方々手慣れた様子で搬送していた。

(13) 車両スクリーニングは適切に行われていたか。

概ね到達 (3人) 課題がある (1人) 確認できず (4人)

【概ね到達】

- ・ゲート型モニタの活用慣れていると感じた。

【課題がある】

- ・サーバイメータを動かすのがはやすぎる。

(14) 車両除染は適切に行われていたか。

概ね到達 (2人) 課題がある (0人) 確認できず (6人)

(15) 車両除染後、スクリーニング済み車両駐車場所まで適切に車両誘導が行われたか。

概ね到達 (2人) 課題がある (0人) 確認できず (6人)

【概ね到達】

- ・汚染された車両とされていない車両の動きが同じであった。

(16) 乗員のスクリーニングのための誘導は適切に行われていたか。(シューズカバーの着脱等)

概ね到達 (3人) 課題がある (0人) 確認できず (5人)

(17) 避難中継所運営本部は、住民の避難状況やスクリーニングの進行状況を把握し、適切な指示を出すなど効果的に機能していたか。

概ね到達 (2人) 課題がある (4人) 確認できず (2人)

【課題がある】

- ・進行状況の説明や情報共有があるとよい。

(18) 関係機関の情報共有は適切に行われていたか。(ホワイトボードの有効活用等)

概ね到達 (5人) 課題がある (3人)

【課題がある】

- ・丁寧な文字で記載されていた。欲を言えばもう少し大きな字で書くと見やすい。
- ・ホワイトボードはもっと手前に置いて、別の場所から見やすくした方がよい。

(19) 余剰人員がいる、または人員が足りないなどが無く、適切な体制が整えられていたか。

概ね到達 (8人)

#### 【概ね到達】

- ・最小限の人数は揃っているように感じた。

(20) その他避難中継所全体での気づき事項

#### 【車両スクリーニング】

- ・車両スクリーニングのスペースが狭い

#### 【講習会】

- ・屋内退避の説明は良好だった。
- ・講習会で、以下の点について検討いただけるとよいのではないか。
  - ①より理解が進むようクイズの○×の回答の後に、解説する。
  - ②屋内退避の際に、外気を取り入れないタイプのエアコンは使用可能であることの説明。
  - ③複合災害の場合の対処法についての説明。(放射線影響は、確率的な影響が考えられるが、それよりも、津波や崖崩れによって死ぬことの方が重篤であり、死なないようにする選択が重要。)
- ・講習会は、わかりやすい説明だった。しかし単純化しすぎとも感じた。
- ・屋内退避中、どのように市から連絡が来るのか説明があるとよかった。
- ・国の指示とはどのような指示が来るのか具体的な説明が必要。

#### 【訓練要員】

- ・全体的に緊張感を持って取り組んでいた。
- ・DMATの方々が、真剣に対処方法を話し合っており良かった。
- ・スタッフが落ち着いており、住民も安心できると感じた。
- ・自治会ごとに担当がわけられているが、緊急対応も想定されるので、担当間の連絡・連携がうまく機能するか、訓練において検証するとよいと思う。

#### 【その他】

- ・スクリーニング場所のホットゾーンとコールドゾーンはしっかり分けられていたと思う。
- ・長浜市は福祉避難に関してかなり体制が整備されているので、今回の訓練に関しても要配慮者支援班の動きが見える形であった方がよかったのではないかと。